

# 推進管の施工についてお願い



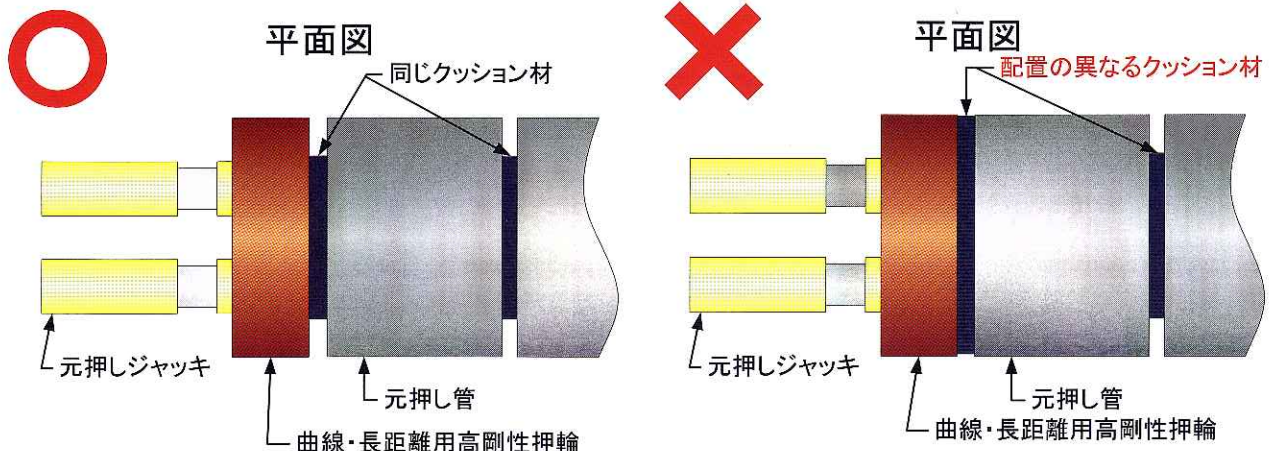
## [発進立坑での注意事項]

この度は、推進管をご使用いただき、誠にありがとうございます。

管の耐荷力は、曲線敷設の場合、曲げ角度やクッション材により変化し、直線推進の許容耐荷力より小さくなります。良好な状態でご使用いただくために、下記の事項について今一度、ご留意の程、お願い申し上げます。

### クッション材の貼り方

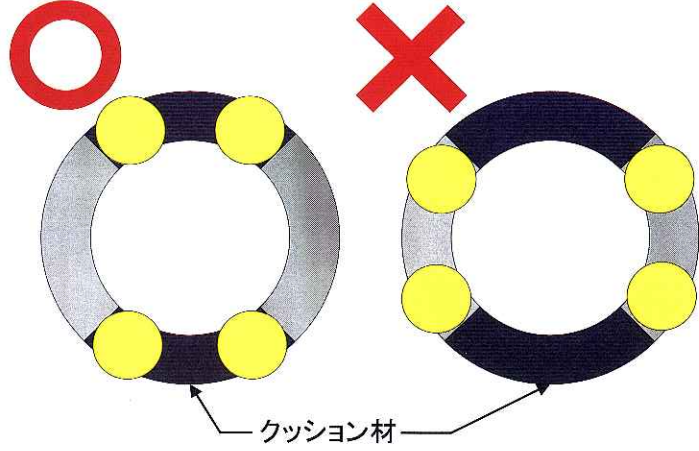
クッション材は、推進力を伝える上で、重要な役割を果たしております。貼り方によっては、ポイントタッチ(曲線部内側の管同士が接触)による、ひび割れ破損の原因になります。ポイントタッチが、起こらないように、クッション材の貼り方、枚数の検討をしてください。



※ 押し輪が当る部分にも同様に、必ずクッション材を張り付けして下さい。

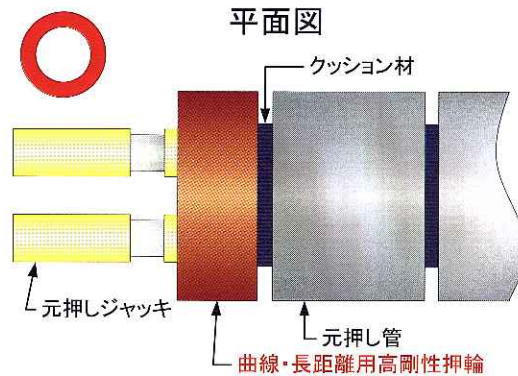
### ジャッキの位置

ジャッキの設置に伴うひび割れも、発生原因として大きいので、注意が必要です。できるだけ、クッション材の位置とジャッキの位置が、一致するように配置してください。

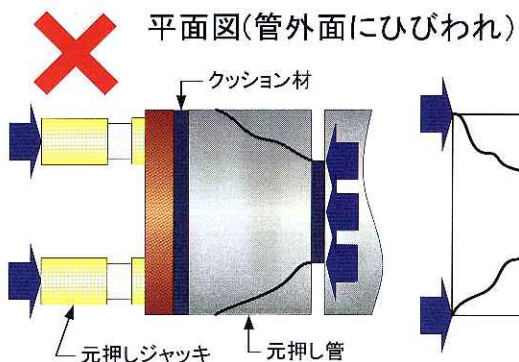


## 押し輪の剛性

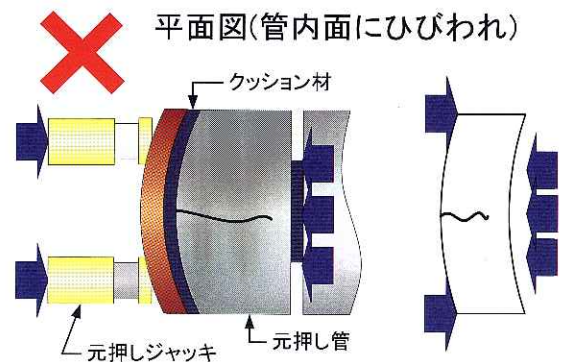
下図のようなクッション材に対し、**曲線・長距離用の剛性の高い押し輪**が必要となります。



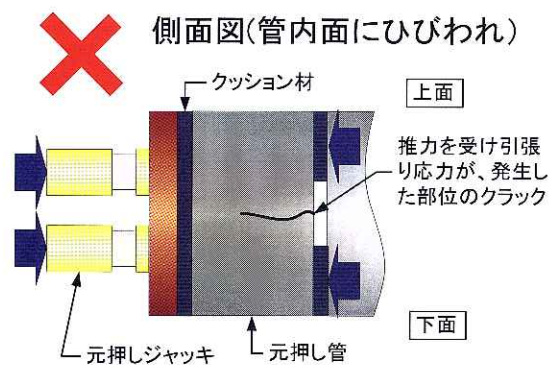
### 元押し部での事故例



例 1) 元押し外面、左右にせん断ひび割れ



例 2) 元押し管内面、上部に軸方向ひび割れ



例 3) 元押し管内面、左右軸方向ひび割れ(側面図)

推進管の曲線施工に関して、基本的な注意事項を記載させて頂きました。

お問い合わせ等は、何なりと担当営業、納入会社にお申しつけください。

**「安全な作業をお願い致します」**